

ケーブルテレビの 緊急災害放送

近年、多発し、激甚化している災害。地域にとって最も身近なケーブルテレビ局は、一人でも多くの命を救うために、人々の生活を支えるために、きめ細かな情報の発信が期待されています。災害時にどう体制を組み、どのような情報を発信していくか、日頃の備えをどうするか、NHKやケーブルテレビ局の経験を共有しながら学びます。

研修の注目点

災害の基礎と発信される情報について徹底的に学びます。
大雨災害を想定して対応を検討するシミュレーションに
グループで取り組み、講評を頂きます。

【日時】 1日目：2023年2月21日(火) 9:50～17:30

2日目：2023年2月22日(水) 9:50～17:50

【対象】 ケーブルテレビの放送制作担当者、編成管理者

【実施方法】 Teamsによるオンライン

【内容】 << 1日目 >>

- 台風・大雨・地震・津波＝災害の基礎と
公的機関が発信する情報について徹底的に学びます。
NHK放送研修センター 野津原有三 シニア・ディレクター
- ケーブルテレビと災害放送 求められる情報の伝え方
NHK放送研修センター 桑代百合子 放送界ユニット長
- 災害時何を伝えたか？ 災害にどう備える？
INC長野ケーブルテレビ 伊藤研志 常務取締役
倉敷ケーブルテレビ 堀川久志 放送制作部長

<< 2日目 >>

- 地域の人たちを守るための伝え方
NHKマイあさ！キャスター 野村正育アナウンサー
- 「災害シミュレーション」
大雨災害を想定し段階ごとの状況を設定。グループごとに
対応を検討して発表、講評もあります。

【受講料】 5万5千円（1人・消費税込み）

【締め切り】 2023年2月10日(金)

HPからお申込みください。